

糖尿病と言われたら

歯周病に要注意！

歯科 口腔外科

糖尿病と歯周病はお互いに悪影響を与えあう悪循環の関係と言われています

① 歯周病で腫れた歯肉から、歯周病菌が血管内に入り込むと、血管の中でTNF- α が産生される

すい臓からインスリンが分泌されるも…



③ 高血糖になり

糖尿病になる

歯周病になる

- 抵抗力が落ち感染しやすくなる
- 血管がもろくなり炎症が治りにくい
- 唾液が少なくなり、自浄作用が低下するため、歯垢がたまりやすくなる

歯周病で歯がぐらぐら動いたり歯が抜けてしまうと、食べるものが軟らかいものに偏ります。軟らかな食品はブドウ糖やショ糖などの吸収の早い糖質が多く含まれるもの多くなり、血糖値を急激に上げる危険があります。

歯周病の治療をすることで、血糖値の2か月の平均を反映するHbA1cが0.29～0.66%低下することもあります。これは糖尿病治療薬剤を一つ新たに使い始めたときの効果に匹敵します。



糖尿病と言われたら

歯医者さんでお口の状態をチェックしてもらいましょう